

グループホーム 金刀比羅

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		デイサービスと共用ということもあり地域とのつながりを、さらに深めていきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		散歩中に入居者の方の知人に会った際には気軽に立ち寄りお茶を飲んでもらえるような環境を作りたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		シニアハウスの入居の方が、入居者を訪ねてこられ、歌の会に参加されることもあり、今後も交流を深めたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施していないが、今後話し合っていきたい。		今後、推進委員会を設置し自治会や学校を通じて、グループホームを知ってもらえるような活動をしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価等のパンフレットを回覧し全員に周知、徹底している。又、外部評価の結果については、その都度検討し改善している。管理者、職員全員で外部評価の作成に取り組んでおり、作成会議を開き意識の理解に努めている。		新規職員の研修にも使用し入職時から意識付けを行っている。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議やご家族の意見を参考に、サービス向上に努めている。		ご家族、職員も今以上に参加できるよう工夫し多数の意見をケアに反映していきたい。今年度より入居者の方にも参加していただいている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が主催する研修などに積極的に参加し勉強会で報告している。		市町村が主催する研修会予定表から抜粋し、当事業所の事業計画に反映、常に情報収集し質の向上に努めたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	高齢者虐待防止に関連し成年後見者制度についても勉強会を実施している。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止委員を設置し定期的に勉強会を実施し虐待のないよう努めている。		新規職員の研修にも使用し入職時から意識付けしたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	入居前、見学、説明をして十分理解を得ている。		事前の面接や来所、電話により不安なことや疑問に答えている。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見箱を設置している。家族からの意見は管理者、職員で速やかに改善するよう努めている。		介護サービス相談員の受入れを行ない細かな要望にも応えられるよう努力している。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	ご家族の面会時に日常の様子や健康状態を報告している。ケース記録も開示しており、ケアプラン更新時にも詳しい説明をして、ご家族の理解を得ている。		面会頻度の少ないご家族とは、電話や手紙で情報交換を行なっている。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員全員に申し送り、より良いサービスにつながるよう取り組んでいる。ご家族の発言を真摯に受け止め反映している。		意見箱を設置しており、問題があれば管理者から職員、外部者へ分かるよう掲示している。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	定期的に自己申告書を配布し職員とヒアリングを実施している。また、全体会議での意見を反映するようにしている。		法人として開設時より取り組んでおり今後も職員から実施方法の意見を取り入れていきたい。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	各フロアでのミーティング内容を参考にして職員により勤務表を作成している。特に行事予定があったりする場合の職員配置はリーダー間で話し合い勤務の調整に努めている。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員異動などは最小限としている。異動がある場合は出来るだけ早く報告したり十分説明をし、入居者の方々のダメージを最小限にしている。		職員はどのフロアにおいても対応できるよう、合同レクリエーション、行事の際には積極的にコミュニケーションを取り、顔なじみになれるよう努め、ダメージを防ぐよう配慮している。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の年齢は幅広く、年齢や性別による排除はない。ヒアリング、個人面談を実施し本人の希望や能力を活かせるよ配慮している。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>全体会議や地域研究会に参加を呼びかけ、人権教育に取り組んでいる。</p>		<p>新規職員の研修にも使用し入職時から意識付けしたい。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間スケジュールを立て、全員が参加できるように配慮している。働きながら、学ぶ喜びを共有している。また、新人職員には初期的な指導を行っている。</p>		<p>希望する研修会には出来る限り参加できるよう勤務調整は今後も行っていき、モチベーションが下がらないようにしていきたい。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設、公共施設での各種研修や他施設などに行き、ネットワーク作りをしている。又、地域ケア研究会には輪番制で参加している。</p>		<p>リーダー以外の職員も気軽に見学、情報交換、収集ができるよう働きかけていきたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>親睦会を設置し、定期的に懇親会を開いている。総合相談のポストを設け、話しやすい環境作りに取り組んでいるが、個人で悩んでいる場合も予想される。</p>		<p>親睦会は和やかな雰囲気であり、日頃の悩みを共有したりストレスが軽減できるよう、今後も取り組んでいきたい。</p>

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修会に参加した職員により所内勉強会を実施している。また、法人からは永年勤続者へ報奨金の支給や資格取得時に手当を支給するなどの配慮をしている。		実践者発表会に参加するため、職員全員で協力し、資料作成を行なった。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常時話ができる雰囲気をつくり、安心して生活できるよう努力している。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談室を設置し、落ち着いた空間で話せる環境を整えて随時相談を受けられるようにしている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じてショートステイやデイサービスを紹介し対応を行っている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービス・ショートステイの利用を勧め、ご自身の状態を見極め入居につなげる努力をご家族と相談しながら対応している。		ショートステイ中に仲良くなられ、入居後も食卓の席を隣同志にするなど早く馴染んで頂けるよう工夫している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	得意分野や経験を生かした生活リハビリを行いながら会話、動作から職員も学ぶことも多く役割を持つことで自信を持っていただけしている。		勉強会等を行うことで新規職員にも意識してもらいたい。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時には情報交換を密に行い要望などを聞いて出来るだけ早期に解決できるよう努力している。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者の方々の居室には自宅から持ち込まれたものも多く、ゆっくりしていただくスペースは十分設けている。リビングにもゆっくりできる空間があり自由にくつろいで頂いている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人やご家族の面会は頻回であり今まで作りあげた関係を継続できるよう支援している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お一人おひとりの性格を把握しトラブルになる前にスタッフが間に入りコミュニケーションが取れるよう援助している。訴えが多い入居者に対して、その方へアドバイスされる入居者おられ、入居者同士で問題解決につながる事も多くみられる。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後も相談を受けたり関連法人内の紹介も行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用し入居に肩の希望や意向を記録しケアプランに挙げている。		お一人おひとりの個別ケア手順書を作成し誰が見ても分かるような物を準備している。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から生活歴や生活環境等の情報収集を行っている。ケアプランにセンター方式を採用しており、色々な角度から情報収集をしている。		新規職員にも情報収集の必要性を伝えその人らしい生活が続けられるように取り組んでいる。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日健康チェックを実施している。個性を尊重し無理のないよう家事にも参加していただいている。ケース記録に記入し申し送りを徹底している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	認知症対応のセンター方式を採用しご本人、ご家族の意見を反映した上で介護計画を作成している。		アセスメントに関しては、より深い内容、情報、意見を得るため努力している。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	初回は一か月、通常は三か月の周期で、入退院時、介護保険更新時は、その都度見直しを行い作成にあたっている。		毎日の記録と毎月のモニタリングを行い、個別ケアを重視した介護計画の作成に努めている。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録やスタッフノートに記録し情報を共有しながら行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご自身の体調に応じて外泊、外出など自由に許可している。また、ショートステイ、デイサービスをご自身の状況に合わせて、利用していただいている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	計画的に地域の小学生、中学生、高校生の受け入れやボランティアの方々の作品を寄贈していただき大変喜ばれている。また、防災訓練時には地域の方に積極的に協力して頂いている。		頻度を増やし地域に密着して行きたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご自身の希望を受け入れて自由に他法人の医療機関を利用されている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	推進会議時に、ご家族も参加を呼びかけ情報交換をしている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご自身が希望している医療機関に受診している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎週専門医の訪問があり入居者の方々からや職員からは状態報告、連絡、相談するというシステムができています。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接に診療所があり相談している。看護師の巡回があり、日常の健康管理の支援を行っている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>お互いに情報交換を行いながら早期に退院できるように医療機関にも協力している。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化した場合に於ける対応に係る指針」を確立している。ご家族と職員全員で協力体制を整える。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>常時医療から情報を得てご家族と共有している。また、早期に病状をご家族に報告して、ご理解を得ている。</p>		<p>ご家族の希望に添いながら情報提供し主治医、管理者、職員が一丸と支援します。今後も安心して生活ができる様に契約時には誠意をもって説明します。</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご自身の心身のレベルにあったフロアを選択しご家族にも十分理解を得て入居につなげている。また住み替えもご自身のレベルや希望に添える所を紹介し住み替えによるダメージを防いでいる。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>尊厳を持って言葉かけをしている。プライバシーの保護にも常に心がけている。</p>		<p>新人職員には介護マニュアルに沿って指導。職員間でも注意しあえるよう指導している。</p>

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	お一人おひとりにあわせた声かけを支援しており常にご自身で選択できるよう言葉かけを行っている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせずに、ご自身のペースに合わせて臨機応変に対応している。		お一人おひとりのペースに添うことの重要性を新人職員に伝えるため場面場面で指導を行なっている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理美容の訪問があるので希望には利用されている。ご家族と外出の際、馴染みの店を利用されている方もおられる。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや食器拭き等、持っている力を発揮して頂き、且つ、感謝の意を伝えることで達成感や役に立っていることを実感して頂けるよう努めている。		右肩麻痺の片もスプーンできざみ食を盛りつけて頂くなど状態により家事に参加して頂いている。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	なるべく多種の飲み物やおやつを準備しご本人の好みに合せた物を提供している。現在は酒、タバコの希望はない。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	生活パターンシートにて排便、排尿の状態を把握している。失敗のある方は、さり気なく声かけを行っている。		入居当初、紙パンツを使用されている方も排泄状況や皮膚の状態を確認しながら布パンツに移行している。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴回数や入浴時間は希望に添って行っているが日勤帯で行っている。入浴時はゆっくりした時間をとり職員との会話を楽しんでもらっている。		主に日勤帯で行っているが夜間不眠気味の方や入浴を夜間帯に希望される方は、他フロアのスタッフと協力しながら実施している。週3回、1階の浴室で入浴を行ないゆっくり入って頂いている。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不安や落ち着かない時は、傍で傾聴したり居室で休息を取っていただいております。不眠の方には日中の活動に気を配り個別に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人おひとりの得意分野や経験を活かした生活リハビリを行うように支援している。誕生会、合同レクリエーション、個別対応の散歩、近くの喫茶店に行くなど工夫している。		誕生日会では、誕生者の好みの物を聞き入居者全員で作ってお祝いしている。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お一人おひとりの希望に沿って買い物に出かけたり、少額の現金の所持は自由にされており、ご家族の理解も得ている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日金比羅池周辺に散歩に出かけている。鯉のえさやりを楽しみにされたり、足が弱るからと、池の周りを一周される入居者もいらっしゃる。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	四季に合わせてお花見やドライブに行ったり美術館、コンサート等にも出かけている。		温泉など職員が対応できない場所への外出はご家族の方が協力して下さっている。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者希望時や届いた品物のお礼等の電話をかけたり手紙のやり取りも希望に沿っている。		年賀状や書中見舞い等も書きご家族に喜んでもらっている。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室以外にも安心してゆっくり過ごせる空間を準備し自由にされている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロ対策委員会を設置し勉強会では、事例を挙げスタッフの意識改革と向上に努めている。		新規職員には研修を実施している。実行委員は自発的にミーティングを行いその都度報告書をまとめ、管理者に提出している。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の建築上やむを得ずエレベーターに鍵を設置している。ご家族には十分説明を行い、了解と理解を得ている。		入居者の方々に閉塞感が生れないようにこまやかに対応している。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーには十分配慮してご自身の行動を把握している。環境整備や危険因子は除去して支援している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険であると思われる物については、ご自身ご家族に了解を得た上で最低限度の管理を行っている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止委員を設置し毎月のひやりはつとを報告、直後の対応や改善に向けての取り組みの状況を全スタッフに報告している。		事故防止委員会はミーティングを定期的に行いその都度報告書をまとめ管理者に提出している。

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当普及員研修にも参加して他職員も定期的に訓練を実施している。緊急時マニュアル、応急手当マニュアルを準備し全職員の身近な所に設置している。		金刀比羅複合施設内の他部署の連携が確立している。協力する意識もあり、体制は整備されている。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域との防災協定を結んでいる。年間事業計画にて定期的に消防訓練を実施。職員と地域の方々と協力している。推進会議でも報告やご意見をいただいている。		今後も防火管理者講習会に可能な限り参加を心がけて行きたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族の面会時には、できるだけ情報は差し上げて、常に意向を聞いて、日々の生活を大切にしている。		家族会の開催時にもリスク対応について資料の提供や対応について話し合いをしている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々健康チェックを欠かさず、早期に体調不良を発見し医療機関との連携体制を確立している。		特に血液凝固阻止剤を内服されている方は、ボディチェックを欠かさず行ない打撲痕あれば医療に繋げている。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を全て保管しており、目的、用法、用量は把握している。疑問点があれば、すぐ主治医、調剤薬局に問い合わせ、指導を受けている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	お一人おひとりにあった、飲食物を提供したり適切な運動、散歩等職員間で話し合いながら取り組んでいる。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアを忘れる方には、さり気なく声かけしたり磨き残しのある方は歯間ブラシを使用するなど状態に応じた支援を行っている。また、異常を発見した場合は、歯科受診できる体制を整備している。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表に記入することで、1日トータルでどれだけ食べたか、いつ残したかの確認ができています。嚥む力が弱い方、嚥下の悪い方には刻みやお粥などで対応し、無理のない摂食を促している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染防止委員会を設置しており、感染防止対策を誰もが見える場所に掲示している。また、定期的に勉強会を行うことで職員の感染防止に対する意識を高めている。		感染予防委員会を設置し、勉強会を行うことで職員の感染防止に対する意識を高めている。インフルエンザの予防接種は毎年職員全員が受けている。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	管理栄養士の指導のもと管理している。手指の消毒は常時徹底している。また、グループホームで作った食材は2週間冷凍し保管している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設の建築上玄関がわかりづらい点がある。フロアのレイアウトを工夫している。写真を飾ったり、出来る限り家庭に近い雰囲気づくりを心がけている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物を置いたり花を生けるなどして明るい雰囲気づくりを心がけている。壁面には季節の行事にあった飾り付けをしている。		

グループホーム 金刀比羅

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者同士の会話には干渉しすぎないように配慮し、どちらかが疲れてきたような場合や不穏に陥りそうだと判断した場合は話題を変えるために間に入って対応する。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好きな物や、思い出の品、家族からのプレゼント等様々で、精神の安定につながっている。転倒防止に対応するために、レイアウトを変える際には、ご本人やご家族に説明を行っている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常時換気扇を使用しており、時には窓を開け換気には注意している。空調の使用は入居者の健康状態に合わせて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各箇所に手すりを設置し家具、テーブルを工夫した形で配慮している。共用部分にはソファなどを設置し安心して生活できるように工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	共用部分は分かりやすい目印をつけている。日頃より、お一人おひとりの状態を把握し混乱される方は、さりげなく声かけを行っている。		視覚傷害の方は、居室のドアの取っ手にぬいぐるみを付けまた、名札は、目に付く位置に大きく表示している。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	一階の空きスペース(屋外)に、ひょうたんやミニトマトの苗を植え、水やり等をして成長を楽しんでいる。		

グループホーム 金刀比羅

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 金刀比羅

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今後も、地域に密着した取り組みや入居者の方々と一緒に生活し、支援していくという事を目標にスタッフ一同向上心を持って、取り組んでいきます。また今年度は他事業所の方々と合同勉強会等を企画しスタッフが役割を持つ事と共に介護現場での悩みを共有する場を設けていきたいと思っております。